

ボイスチェンジャーの使い方

こんにちは、松下です。

今回は、ボイスチェンジャーの使い方について解説していきます。

ボイスチェンジャーを使うことであなたは、声を自由自在に変えることができるようになり、例えば、男性でしたら女性の声でナレーションをすることも可能になります。

非常に便利なツールになりますので、ぜひ最後までしっかりとご視聴ください。

ミリオンズでは、「リトル・アルターボーイ」というボイスチェンジャーソフトを推奨しています。

リトル・アルターボーイは、数あるボイスチェンジャーの中でも、最も自然な感じで声を変えることができるソフトです。

ただし、このソフトを起動させるには、別途「DAW」というソフトが必要になります。

DAWというのは、「デジタル・オーディオ・ワークステーション」の略語になりますが、簡単に言うと「音楽を制作するミキシングソフト」になります。

DAWソフトには、様々なものがありますが、今回は無料で使える「ボイスミーター」と「ケイクウォーク」という2つのソフトを利用して、リトル・アルターボーイを起動させる方法をご紹介しますと思います。

ただし、リトル・アルターボーイ自体はMacとWindows両方に対応していますが、ボイスミーターとケイクウォークに関しては、Windowsのみの対応となっていますので、Macをお使いの方で、まだWindowsを導入していないという方は、下に詳細動画を用意しておきましたので、そちらをご覧ください。

それでは、張り切って参りましょう！

まず最初に、ボイスミーターのインストール方法について解説していきます。

Googleの検索で「ボイス・ミーター・バナナ」と英語で入力し、検索をかけます。

すると、一番上位に「VB-オーディオ・ボイスミーター・バナナ」というサイトが表示されるので、こちらをクリックします。

すると、このような画面が表示されるので、この下の方の「ジップ

パッケージ」という方の「ダウンロード」をクリックし、保存先を選択し「保存」をクリックします。

すると、左下に「ボイスミーター・セットアップ」という文字が表示されるので、こちらをクリックするとフォルダが開きますので、この中の「ボイスミーター・セットアップ」というファイルをダブルクリックします。

すると、インストール画面が表示されるので「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始され、このような画面が表示されたらインストールは完了です。

ボイスミーターのインストールが完了したら、パソコンの設定をします。

まずは、Windowsの右下にある「スピーカーアイコン」を右クリックし、「サウンドの設定を開く」をクリックします。

すると、サウンドの設定画面が表示されるので、出力デバイスを「ボイスミーター・インプット」、入力デバイスを「ボイスミーター・アウトプット」をそれぞれ選択します。

次に、右上の「サウンド・コントロール・パネル」をクリックし、

まずは「再生」タブを開きます。

そして「ボイスミーター・インプット」を選択し「既定値に設定」をクリックします。

次に、「ボイスミーター・オークス・インプット」を右クリックし、「既定の通信デバイスとして設定」をクリックします。

すると、ボイスミーター・オークス・インプットには電話マークのアイコンが、ボイスミーター・インプットにはチェックマークのアイコンが、それぞれ表示されれば再生の設定は完了です。

次に「録音」タブを開き、こちらも再生タブと同様に、まずは「ボイスミーター・アウトプット」を選択し「既定値に設定」をクリックします。

そして、その上の「ボイスミーター・オークス・アウトプット」を右クリックし「既定の通信デバイスとして設定」をクリックします。

すると、先程と同じように電話アイコンとチェックアイコンが表示されれば設定は完了になりますので、「OK」をクリックして画面を閉じます。

次に、ボイスミーターを起動します。

左下のウィンドウアイコンをクリックしメニューを表示させます。

すると、その中の「V」の欄に「VBオーディオ」というフォルダがあるので、こちらをクリックすると、その中に「ボイスミーター・バナナ」というファイルがあるので、こちらをクリックしながら、デスクトップへ移動します。

すると、デスクトップにボイスミーターのアイコンが表示されるようになるので、こちらをダブルクリックすると、ボイスミーターを起動させることができます。

ボイスミーターが起動したら、設定をしていきます。

まず右上の「A1」というボタンをクリックし、「WDM：スピーカー」を選択します。

そして次に、左上の「ハードウェア・インプット1」というボタンをクリックし、「WDM：マイク」を選択します。

すると、下のゲージが動き出します。

たまにハウリングを起こす場合はあるので、その場合はボリュームを少し下げると治ります。

そして、この部分の「A1」というボタンを押して解除します。

次に、右上の「メニュー」をクリックし、「システム・セッティング・オプション」をクリックします。

すると、設定画面が表示されるので、一番下の左端の「インワン・レフト」と「インワン・ライト」にチェックを入れ画面を閉じます。

これで、ボイスミーターの設定は完了です。

次に、ケイクウォークのインストール方法について解説していきます。

まずは、Google検索で「ケイクウォーク・バイ」と英語で検索をかけます。

すると、一番上位に「ケイクウォーク・バイ・バンドラボ」というサイトが表示されるので、こちらをクリックし、表示されたサイトの「ダウンロード」をそれぞれクリックし、保存先を選択し「保存」をクリックします。

すると、左下に「バンドラボ・アシスタント」と表示されるので、こちらをクリックすると、バンドラボ・アシスタントのインストー

ルが開始します。

インストールが完了すると、デスクトップに「バンドラボ・アシスタント」というアイコンが表示されるので、こちらをダブルクリックするとメニュー画面が表示されるので、この中の「APPS」というタブをクリックします。

すると、「ケイクウォーク・バイ・バンドラボ」という画面が表示されるので、この下の「インストール」をクリックし、全てにチェックを入れて、再度「インストール」をクリックすると、ケイクウォーク・バイ・バンドラボのインストールが開始されます。

途中、言語を選択する画面が表示されるので、「Japanese」を選択し「OK」をクリックし、規約に「同意する」にチェックを入れ、画面の指示に従って進めていくと、インストールが継続します。

さらに、途中で「マイクロソフト・エッジ」のインストール画面が表示されますが、こちらはそのまま進めて大丈夫です。

インストールが終わったら「OK」をクリックすると、デスクトップ画面に「ケイクウォーク・バイ・バンドラボ」のアイコンが表示され、インストールは完了します。

次に、リトルアルターボーイのインストール方法について解説していきます。

まず、Google検索で「リトルアルターボーイ」と検索をかけると、一番上位に英語でリトルアルターボーイのサイトが表示されるので、こちらをクリックします。

すると、購入画面が開きますので「購入」をクリックし、「カートに入れる」をクリックします。

そして、「ご注文手続きへ進む」をクリックすると、ログイン画面が表示されるので、会員の方はログインIDとパスワードを入力します。

会員ではない方は「会員登録せず支払い」または「会員登録してお支払い」をクリックします。

今回は「会員登録してお支払い」をクリックします。

会員情報を入力しながら画面の指示に従い、最後に「注文する」ボタンをクリックすると完了画面が表示され「MI STORE」から「シリアル通知のお知らせ」というメールが届きます。

このメールの指示に従ってインストールを進めていきますが、まず

は、「iLok.com」というリンクをクリックします。

すると、iLok.comの登録画面が表示されるので「無料アカウントの作成」をクリックし、必要事項を入力し、「アカウントを作成」をクリックします。

すると、登録したメールアドレスに確認のメールが届くので、こちらのリンクをクリックすると、iLok.comのログイン画面が表示されるので、ユーザーIDとパスワードを入力し「サインイン」をクリックします。

無事にサインインができれば登録は完了です。

iLokの登録が終わりましたら再度メールに戻り、「サウンド・トイズ」の登録ページを開きます。

このページは英語版なので、日本語に翻訳すると見やすくなります。

そして、まずはシリアルナンバーを入力します。

シリアルナンバーとはメールに記載されている「製品ライセンス情報」になります。

次に、メールアドレスと先程登録したiLokのIDを入力し、「私は新

しい顧客です」にチェックを入れ、パスワードを入力し「承認する」をクリックします。

そして、お名前と先程のiLok IDを入力し「サブミット」をクリックすると、「新しい製品が承認されました」という画面が表示されて、サウンドトイズの登録は完了です。

サウンドトイズの登録が完了すると、このようなメールが届いているので、メールの中の「サウンドトイズ・アカウント」をクリックし、メールアドレスとパスワードを入力しログインします。

すると、メルマガの登録画面が表示されるので、必要なものにチェックを入れます。

ここでは「私に連絡しないでください」にチェックを入れて「続行」をクリックします。

すると、下の方にリトルアルターボーイのダウンロードボタンがありますので、こちらをクリックすると、ダウンロード画面が表示されるので、ダウンロードリンクをクリックし、保存先を選択し「保存」をクリックします。

すると、左下に「リトル・アルターボーイ」というフォルダが表示されるので、こちらをクリックするとインストールが開始されます。

「next」をクリックし「I accept」を選択し「next」を2回クリックし、保存先の選択画面が表示されたら、「ブラウザー」をクリックし「プログラムファイル」の中の「ケイクウォーク」というフォルダを選択し「OK」をクリックします。

この時、保存先を間違えてしまうとリトル・アルターボーイが起動しなくなるので、必ず保存先は「ケイクウォーク」のフォルダを選択してください。

保存先を選択したら「next」をクリックすればインストールが開始します。

リトル・アルターボーイのインストールが終わると、完了画面が表示されるので「フィニッシュ」をクリックします。

すると、「ペイス・ライセンス」というソフトのインストールが始まるので、画面の指示に従って作業を進めるとペイス・ライセンスのインストールが完了します。

リトル・アルターボーイとペイス・ライセンスのインストールが完了すると、デスクトップに「iLok ライセンス・マネージャー」というアイコンが表示されるので、こちらをクリックしiLokの設定をします。

iLokのログイン画面が表示されたら、ユーザーIDとパスワードを入力しログインし、「リトル・アルターボーイ」を選択します。

そして、右上のチェックマークをクリックし、「アクティブ」をクリックし、「OK」を2回クリックすれば、iLokの設定は完了です。

iLokの設定が完了したら、デスクトップにある「ケイクウォーク」のアイコンをダブルクリックし起動させます。

すると、最初はこのような画面が表示されるので、何もいじらずに「次へ」をクリックしていき完了させます。

そして次に、ケイクウォークの設定をしていきます。

まずは、左上の「編集」をクリックし「環境設定」をクリックします。

すると、設定画面が表示されるので、左メニューの「オプション」をクリックし、ドライバーモードは「ASIO」を選択し「適用」をクリックします。

そして次に、左メニューの「デバイスの選択」をクリックし、入力デバイスと出力デバイス両方の既存のチェックを全て外し、それぞれ5段目の「ボイスミーター・インサート・バーチャル・AISO・イン#1・レフト」にチェックを入れ「適用」をクリックします。

次に、左上の「ファイル」から「スタートスクリーン」をクリックし、表示されたメニューから「Basic」というアイコンをクリックします。

すると、このような画面が表示されるので、まずはトラック1の「インプットモニター」をオンにすると、ゲージが動き出します。もしゲージが動かない場合は、デバイス設定のサンプリングレイトの数値が、ボイスミーターの数値と合っていないのが原因なので、この数字を合わせます。

ボイスミーターを開いて「ハードウェア・アウト」の数値とサンプリングレイトの数値を同じ数値に設定してください。

次に、左側のゲージの部分の「ステレオ・モノラル」ボタンをクリックし、モノラルに切り替えます。

ここがステレオのままですと、ボイスチェンジャーの音に遅れが生じてしまうので、ここは必ずモノラルにしてください。

次に、その上の「FX」の右側のプラスをクリックするとメニューが表示されるので、「オーディオFXの挿入」から「ピッチシフト」を選択すると「リトル・アルターボーイ」があるので、こちらをクリックすると、リトル・アルターボーイが起動します。

もし、このピッチシフトの中にリトル・アルターボーイが見当たらない場合、リトル・アルターボーイのインストール時に、保存先をケイクウォークに指定しなかったのが原因になりますので、その場合は、まず下のバーのフォルダを開き、左メニューのPCをクリックします。

そして、Cドライブをクリックすると「プログラムファイル」があるので、こちらをクリックし、さらにその中の「VSTプラグイン」というフォルダをクリックし、「サウンドトイズ」というフォルダをクリックすると、その中に「リトル・アルターボーイ」という

ファイルがありますので、このファイルをコピーします。

そして、上の矢印で「VSTプラグイン」まで戻って、上の方にある「ケイクウォーク」というフォルダをクリックし、その中の「VSTプラグイン」をクリックします。

そして、その中に先ほどコピーしたリトル・アルターボーイのファイルを貼り付ければ、先程の「ピッチファイル」の中にリトル・アルターボーイが出るようになります。

リトル・アルターボーイのインストールが終わりましたら、機器の接続をしていきます。

まず用意するのは、パソコンとスピーカー、スピーカーが無い方はヘッドフォンでも大丈夫です。

そしてマイク、今回はヘッドマイクを使います。

マイクに関する詳細は、下に解説動画を用意しましたので、そちらをご覧ください。

そして次に、このようなUSBの三又のハブがあると便利です。

それと、マイクとスピーカーのジャックがないパソコンをお使いの方は、このようなマイクとスピーカー端子をUSBに変換する装置も

用意してください。

それでは、接続していきましょう。

まずは、USBのハブを接続します。

こんな感じですね。

そして次に、マイクとスピーカー端子を変換する機器を取り付けます。

こんな感じになります。

そして次に、スピーカーの線をつないでいきます。

スピーカー端子は、先程接続した変換器のヘッドホン側に差し込んでください。

こんな感じですね。

そして最後に、マイク端子を変換器のマイク側に差し込みます。

こんな感じですね。

これで準備は完了です。

では早速、音を出してみたいと思いますが、その前に、端子の接続機器を取り付けた場合、各ソフトの設定を変更する必要があります。

変換機器を接続したら、まずはボイスミーターを開きます。

そして、右上のA1 ボタンをクリックし、「WDM：スピーカー プラグエイブル」に変更します。

そして次に、左上の「ハードウェア・インプット1」というボタンをクリックし、こちらも「WDM：マイク プラグエイブル」に変更します。

そして次に、ケイクウォークを開き、左上の「編集」から「環境設定」をクリックし、左メニューの「デバイス設定」をクリックし、「サンプリングレート」の数値をボイスミーターの数値と同じ数値に変更します。

最後に「適用」をクリックし閉じます。

これで設定は完了です。

それでは、実際にリトルアルターボーイを使ってみましょう。

【リトルアルターボーイの設定】

はい、ではこれからリトルアルターボーイで、声を変えていきたいと思います。

今回のテーマは、男声から女声に変えるということなので、その場

合は、まず「ピッチ」を12に変えます。

どうでしょうか？声が高くなりましたよね。

そして次に、「フォルマウント」を3に変えます。

すると、女声らしくなってきたと思います。

ただし、ここでひとつ注意点があります。

ただ設定を変えるだけではなく、声の出し方を工夫すると、さらに女声っぽくなります。

コツとしましては、口から声を出すというよりも、頭のテッペンから声を出すようにすると、いい感じになります。

上げて、上げて、上げて、こんな感じで声を出すと、さらにいいと思います。

そして、右側の「MIX」というツマミを「WET」から「DRY」に変更すると、こんな感じで元の声に戻すことができます。

どうでしょうか？面白いですね。

ぜひ、参考にしてみてください。

はい、以上がボイスチェンジャーについての解説でしたが、いかが

だったでしょうか？

ボイスチェンジャーは、声を自由自在に変えることができ、あなたのこれからのユーチューバー生活を更に有意義なものにしてくれるアイテムになりますので、ぜひ参考にしてみてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。